

令和5年7月4日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 川森 大輔
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 平内・佐藤・上野（電話）03-3438-9932
（FAX）03-3438-0371

病院経営動向調査（2023年6月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎（3月、6月、9月、12月）に実施しています。今回は2023年6月に実施した本調査の結果についてご報告します。
詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：病院（336施設）を運営する法人260法人（うち、医療法人215法人）*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2022年度の経営状況および原油価格や物価高騰の影響
- 回答数：病院：240 医療法人：157 有効回答数：病院：240 医療法人：157
- 有効回答率：病院：71.4% 医療法人：73.0%
- 実施期間：2023年6月1日（木）～ 2023年6月22日（木）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が△18（前回調査より7%ポイント低下）、療養型病院が△7（同4%ポイント上昇）、精神科病院は△29（同7%ポイント上昇）となった。
- 医業収支（黒字・赤字）のDIは、一般病院が△21（前回調査より16%ポイント低下）、療養型病院が25（同4%ポイント上昇）、精神科病院は△8（同8%ポイント低下）となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が1（前回調査より3%ポイント上昇）、療養型病院が△2（ほぼ同水準）、精神科病院は△27（同9%ポイント低下）となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△43（前回調査より4%ポイント上昇）、療養型病院が△38（同7%ポイント上昇）、精神科病院は△52（ほぼ同水準）となった。
- 経営上の課題として「人件費以外の経費の増加」を挙げた病院は、一般病院が62.5%（前回調査より12.0ポイント低下）、療養型病院が62.5%（同9.6ポイント低下）、精神科病院が64.6%（同10.4ポイント低下）となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは△8（前回調査より9%ポイント上昇）、事業収支（黒字・赤字）のDIは1（同6%ポイント低下）、資金繰りDIは1（同4%ポイント上昇）、従業員数のDIは△45（同2%ポイント上昇）となった。

【その他】

- 2022年度の病院全体の医業収益は、2021年度比5%以上増加が21.9%、5%以上減少が26.2%となった。また、医業利益は、2021年度比5%以上増加が19.7%、5%以上減少が54.1%となった。
- 原油価格や物価高騰による影響を受けていると回答した先のうち、2021年度比で水道光熱費が増加したのは98.3%となった。変化幅の内訳をみると、20%以上増加したと回答した先が66.7%を占めた。

以上